



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2022年7月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2022年6月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

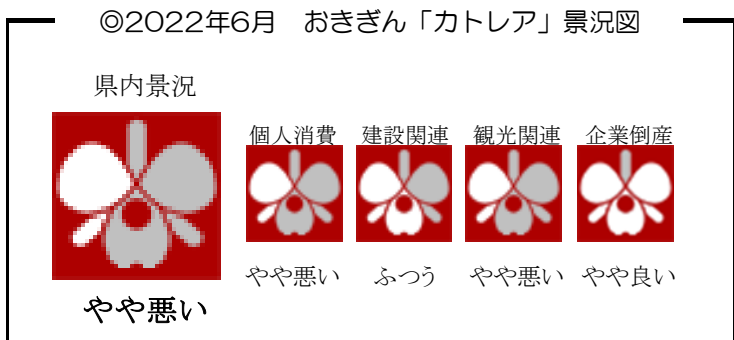
☆ 企業倒産：発生なし。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年6月分)



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している。

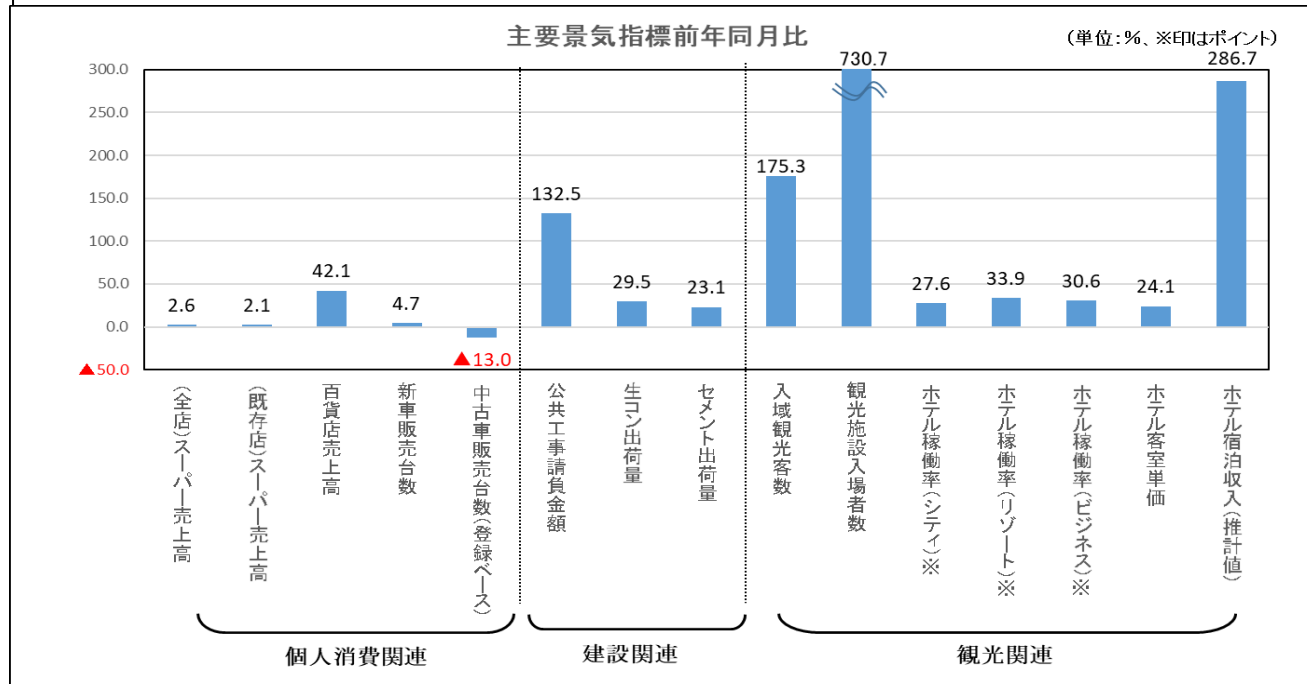
6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月を上回り、中古車販売台数は前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。

総じてみると、個人消費は、感染症の影響による下押し圧力が弱まるもとで緩やかに持ち直しており、建設関連は、民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続く中、緩やかに持ち直しています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、緩やかに持ち直している」と上方修正しました。

(上方修正)



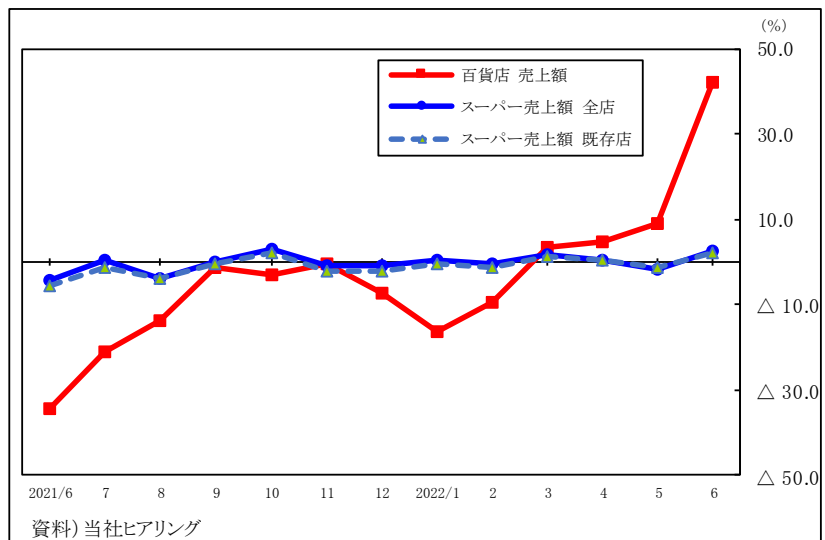


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1



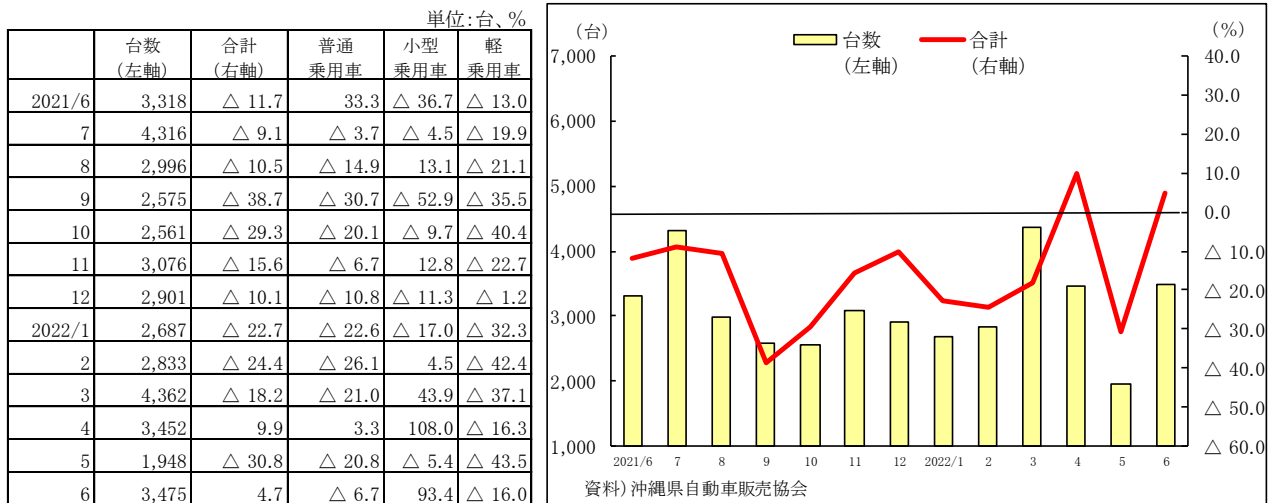
注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 2.6%増)」は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.3%減)」は前年の緊急事態宣言の反動により外出需要が高まったことなどにより、前年同月を下回りました。「衣料品(同 33.8%増)」、「家庭用品(同 12.7%増)」は人流回復に伴う来客数の増加などにより、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.1%増)」は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.4%減)」は、前年の緊急事態宣言の反動により外出需要が高まったことなどにより前年同月を下回りました。「衣料品(同 34.3%増)」、「家庭用品(同 9.0%増)」は行動制限がなく、人流が回復したことによる来客数の増加などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 42.1%増)。内訳をみるとウエイトの高い「衣料品(同 23.4%増)」、「家庭用品(同 43.8%増)」、「身廻品(同 56.5%増)」は、前年の緊急事態宣言に伴う一部店舗の土日祝日休業の反動などによる来店客数の増加により前年同月を上回りました。「食料品(同 63.0%増)」は開催した催事が好調だったことや、お中元向けギフト商品のキャンペーンの早期実施などにより前年同月を上回り、全体としては4ヶ月連続で前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



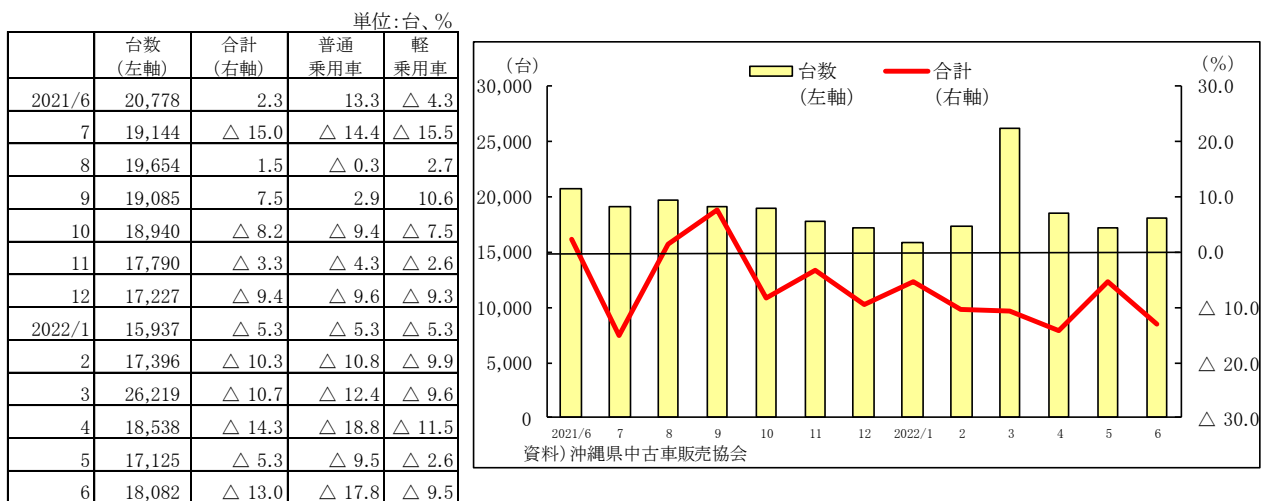
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,475台(同4.7%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同6.7%減)」、「軽乗用車(同16.0%減)」は、半導体の不足が継続していることなどにより、前年同月を下回りました。「小型乗用車(同93.4%増)」はレンタカーの増加などにより、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

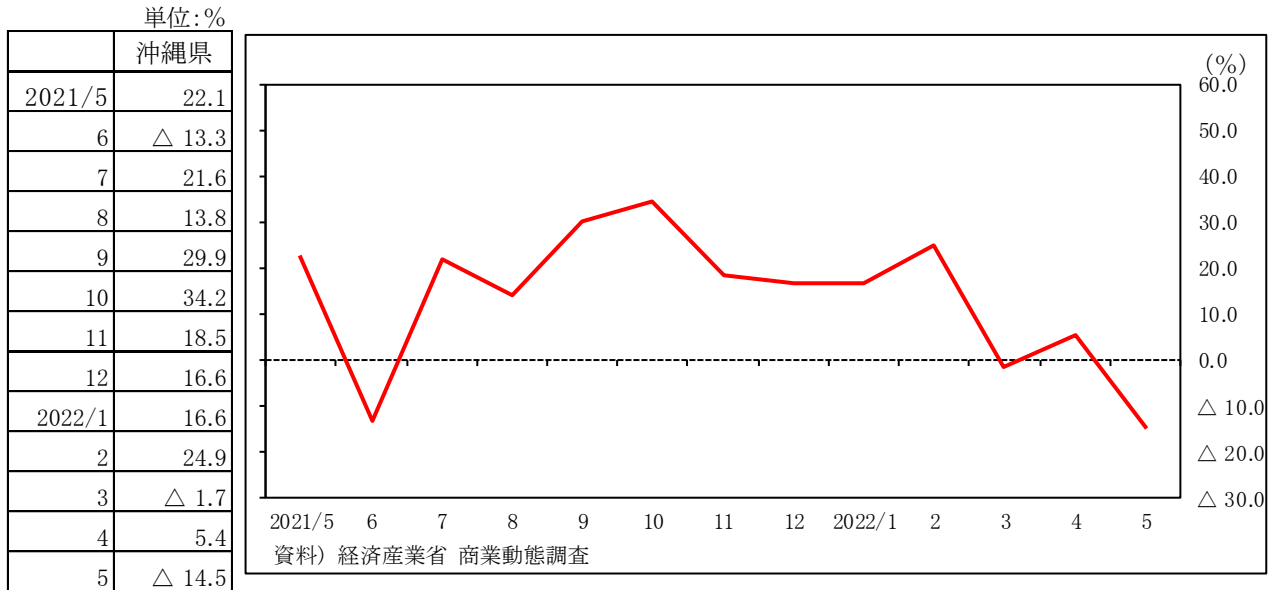


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で18,082台(同13.0%減)となり、9ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同17.8%減)」、「軽自動車(同9.5%減)」共に新車の供給台数が減少していることが要因となり、中古車市場における車両台数が減少していることなどにより、前年同月を下回りました。

④ 【参考】(5月)大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。



注)前年同月比

5月の**大型家電専門店販売額**は2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

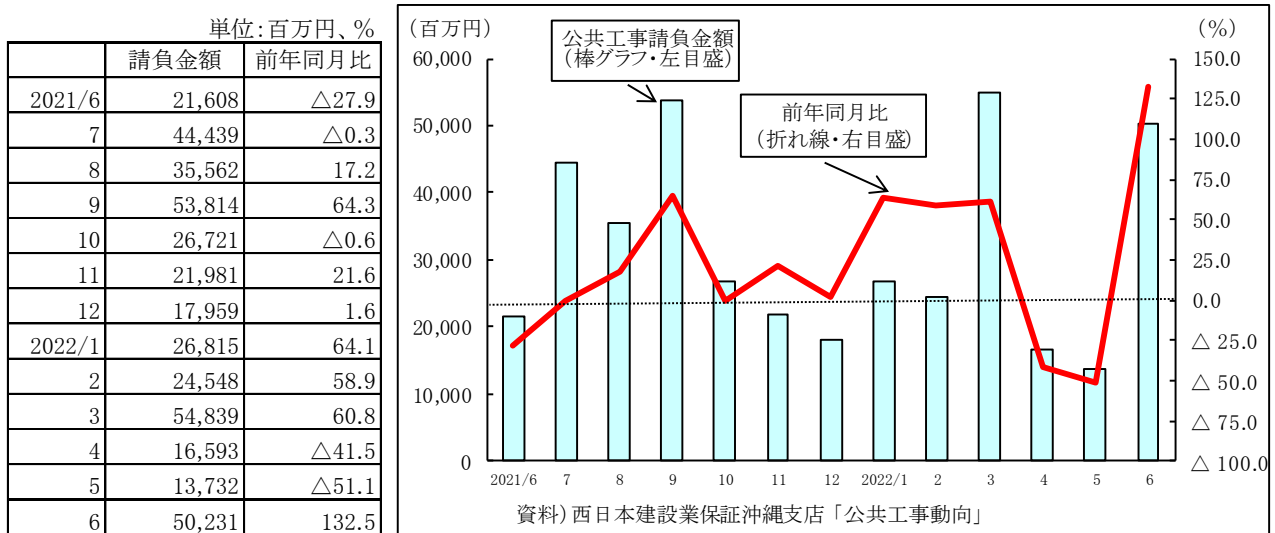
下回った要因として、前年の反動や、降雨量が平年値を大きく上回り、客足が伸び悩んだことなどが挙げられています。

※コメントについては商業動態調査を基に小売店へ弊社が独自にヒアリングを行ったものになります。

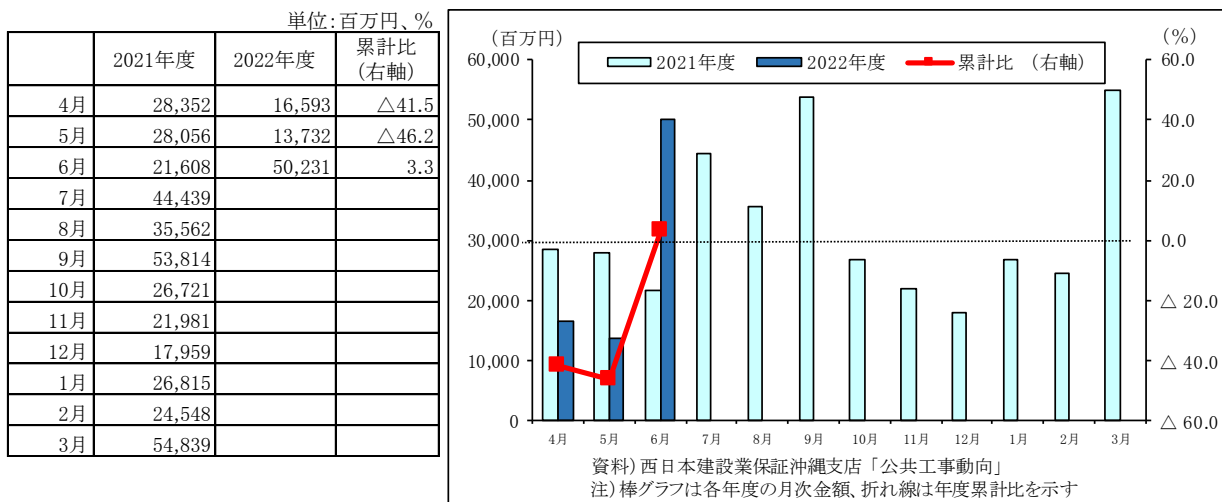


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



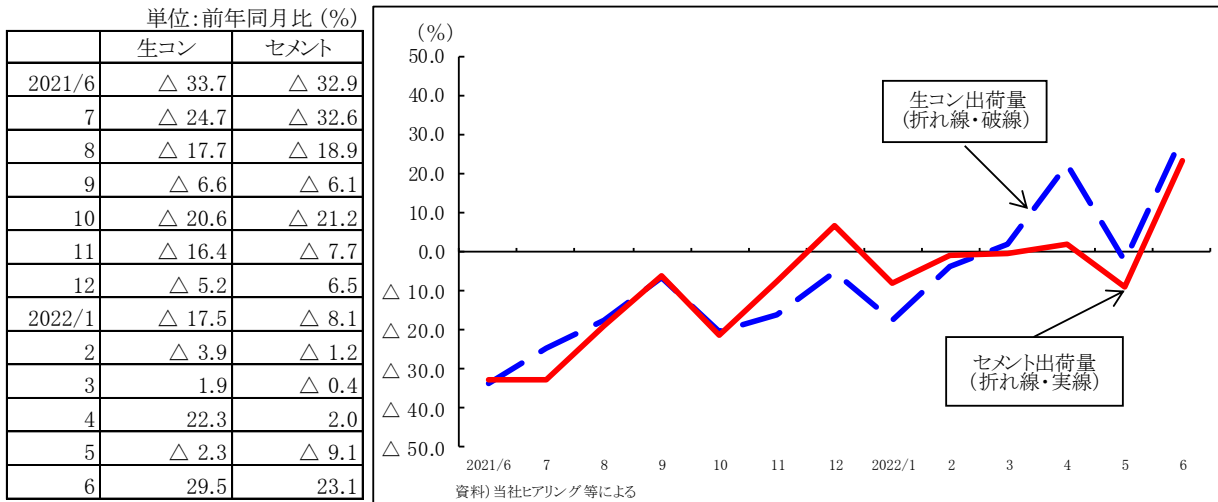
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



6月の公共工事請負金額は、前年同月比 132.5%増の 502 億 3,100 万円となりました(3ヵ月ぶり増)。

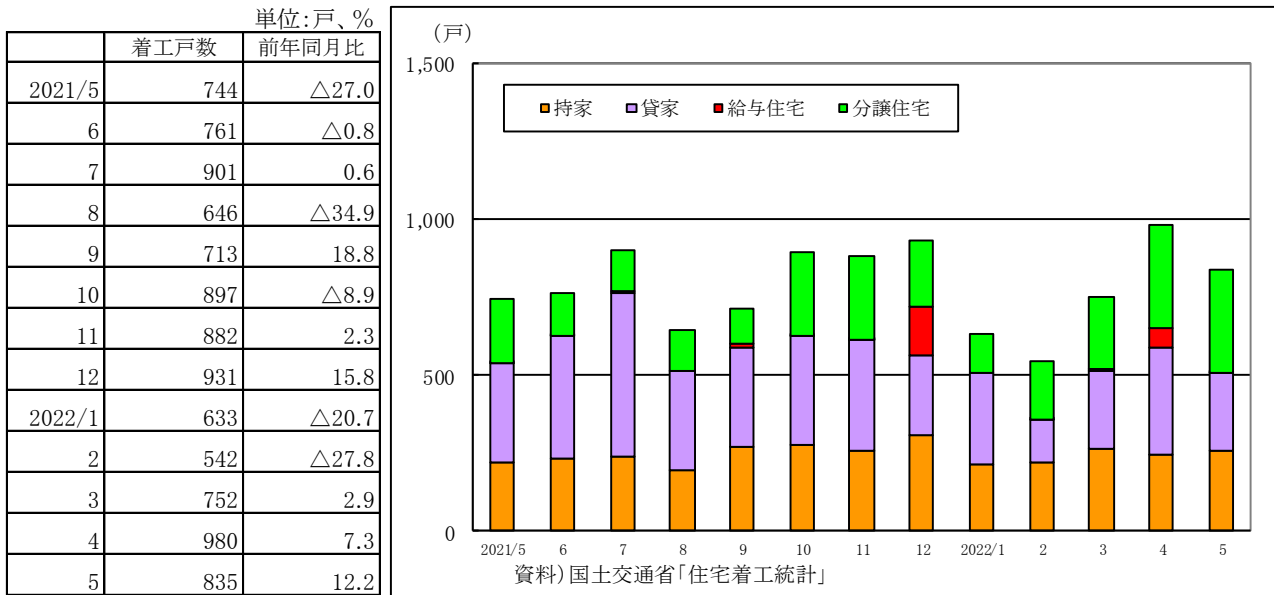
発注者別でみると、「国(238.5%増)」、「独立行政法人等(同 138.8 倍)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同 27.0%減)」、「沖縄県(同 21.1%減)」は前年同月を下回りました。

②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



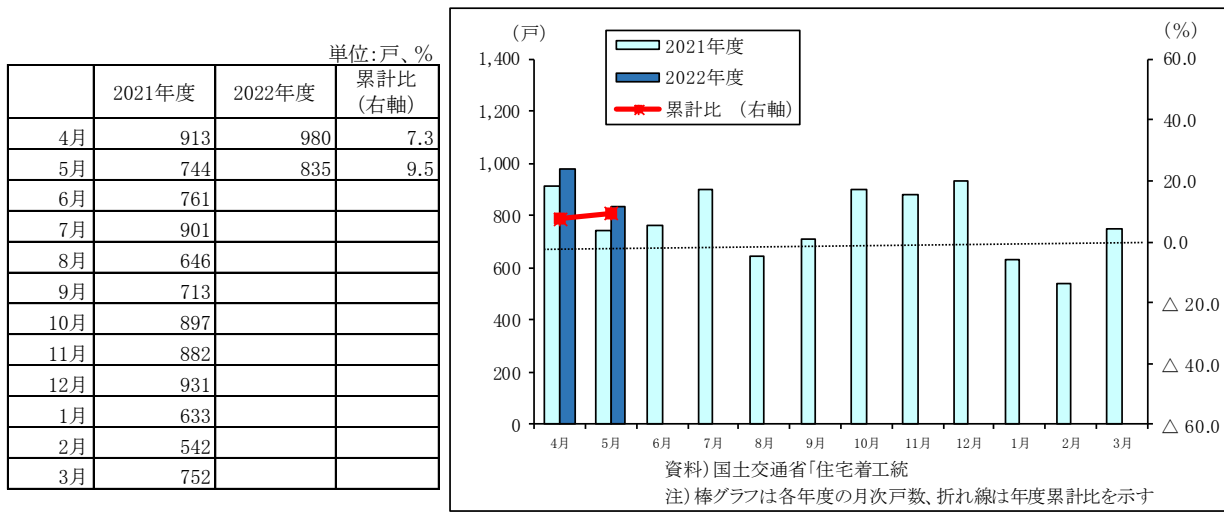
建設資材関連では、生コンの出荷量は 29.5%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは石垣での出荷が増加したことなどから前年同月より 34.0%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より 27.1%上回りました。セメント出荷量は 23.1%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③【参考】住宅投資（5月）・・・着工戸数は前年同月を上回る。



5月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 12.2%増の 835 戸となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同 57.5%増)」、「持家(同 17.1%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家(同 20.4%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



今年度累計値では、9.5%増となっています。



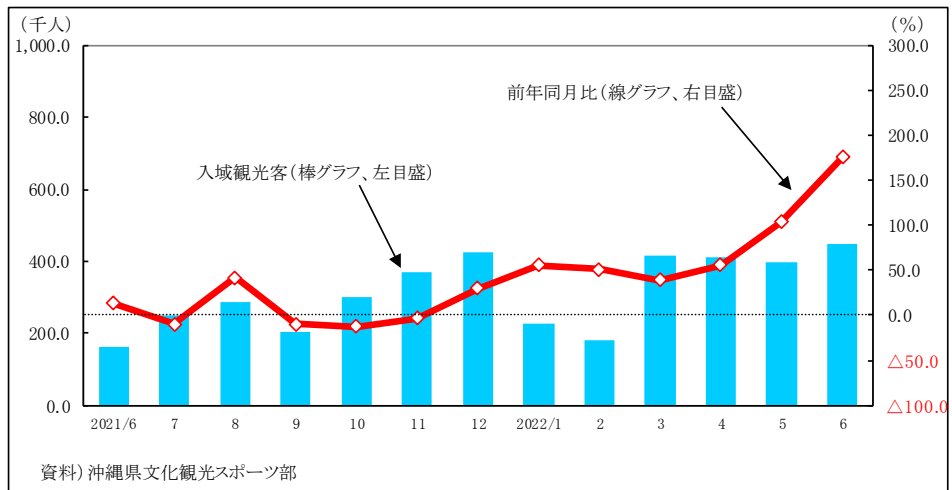
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0
10	299.0	△ 12.4
11	368.0	△ 3.4
12	423.5	29.8
2022/1	224.6	56.0
2	179.1	50.8
3	415.7	38.9
4	409.0	55.8
5	396.8	103.3
6	448.5	175.3

※外国客は乗務員等を含む

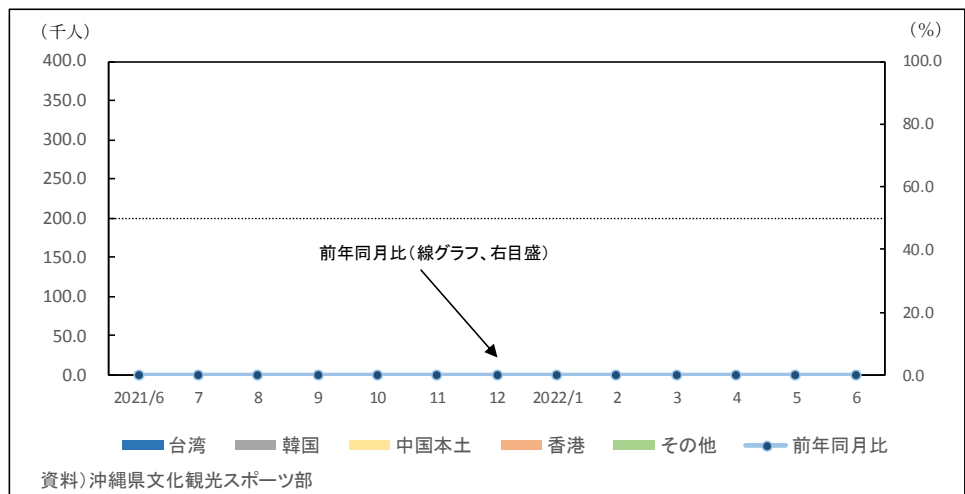


外国客入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/6	0.0	N/A
7	0.0	N/A
8	0.0	N/A
9	0.0	N/A
10	0.0	N/A
11	0.0	N/A
12	0.0	N/A
2022/1	0.0	N/A
2	0.0	N/A
3	0.0	N/A
4	0.0	N/A
5	0.0	N/A
6	0.0	N/A

※外国客は乗務員等を含む



6月の入域観光客数は、行動制限がなかったことや減便規模が縮小したなどから 285,600 人多い 448,500 人(前年同月比 175.3%増)となり、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。しかし、2019 年同月比では 419,700 人減少(51.7%減)と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

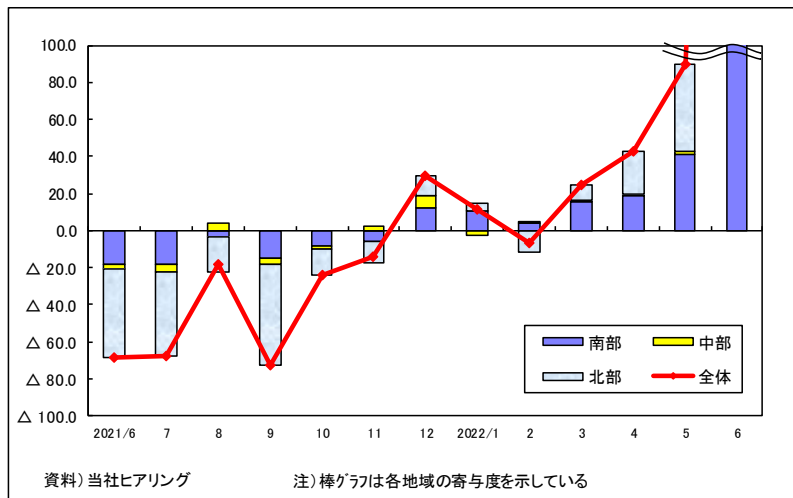
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。日本への入国制限措置については段階的な緩和が検討されているため、今後の動向を注視する必要があります。

②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/6	△ 68.8	△ 70.8	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 23.5	△ 28.1	△ 18.4	△ 22.1
11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△ 19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	730.7	1,132.2	383.9	629.3

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



6月の観光施設入場者数は、全体では730.7%増となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は1,132.2%増、中部は383.9%増、北部は629.3%増となりました。前年同月は緊急事態宣言が発出され行動制限が続いたことに対し、当月は行動制限がなかったことなどから前年同月を上回りました。

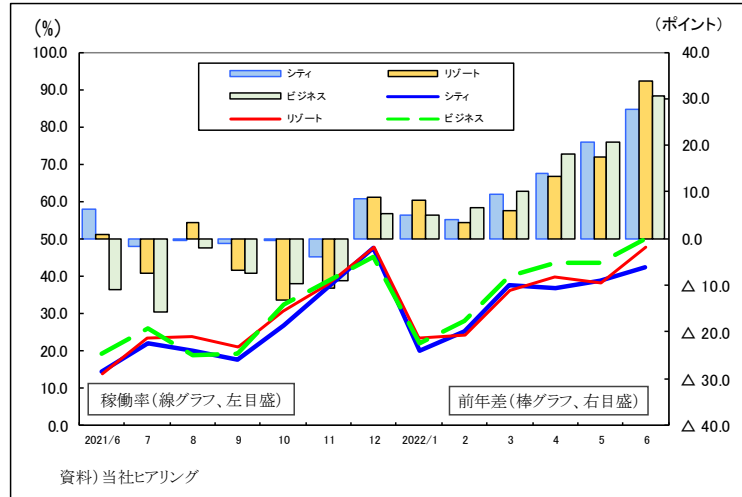
(参考)2019年同月比では、全体で68.2%の減少となります。内訳では南部の観光施設は72.8%減少、中部は81.2%減少、北部は62.1%の減少となっています。コロナウイルス感染症の影響や雨天が続いたことなどから、客足の戻りは鈍い状況となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/6	14.5	13.6	19.3	6.4	0.8	△ 11.1
7	22.1	23.2	25.9	△ 1.8	△ 7.3	△ 15.8
8	19.8	23.8	18.7	△ 0.2	3.5	△ 2.0
9	17.6	20.8	19.2	△ 1.2	△ 6.7	△ 7.6
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.1	37.5	38.7	△ 4.1	△ 10.8	△ 9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6

注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



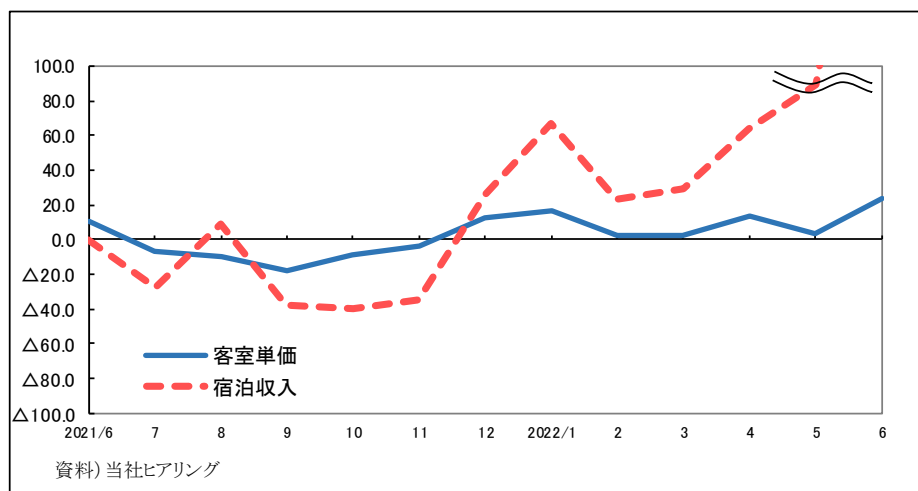
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比27.6ポイント増加、リゾートホテルは33.9ポイント増加、ビジネスホテルは30.6ポイント増加しました。緊急事態宣言下にあった前年同月の反動増や、旅行マインドが改善傾向にあることなどから前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは35.7ポイントの減少、リゾートホテルは30.2ポイントの減少、ビジネスホテルは28.6ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/6	10.9	△ 0.5
7	△ 6.6	△ 28.0
8	△ 9.9	8.9
9	△ 17.6	△ 38.1
10	△ 9.0	△ 40.1
11	△ 3.8	△ 34.5
12	12.5	26.6
2022/1	16.9	67.2
2	2.9	22.9
3	2.3	29.5
4	14.1	64.3
5	3.4	89.0
6	24.1	286.7



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は24.1%増と7ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においても286.7%増と7ヵ月連続で前年同月を上回りました。

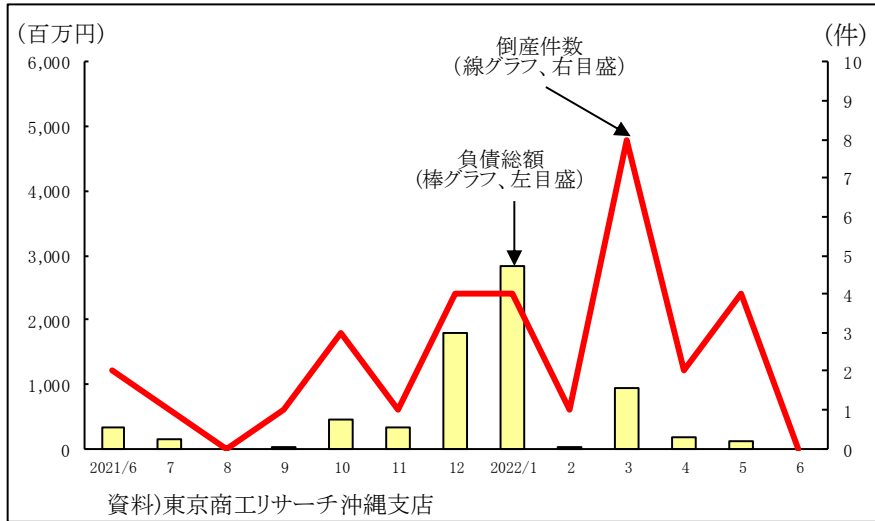
(参考) 2019年同月比では、客室単価は7.1%の減少、客室収入は44.3%の減少となっています。



■企業倒産： (やや良い)
企業倒産・・・発生なし。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0



資料)東京商工リサーチ沖縄支店

注)負債総額1,000万円以上を集計対象

6月の企業倒産は、発生なしとなりました(2021年8月以来)。

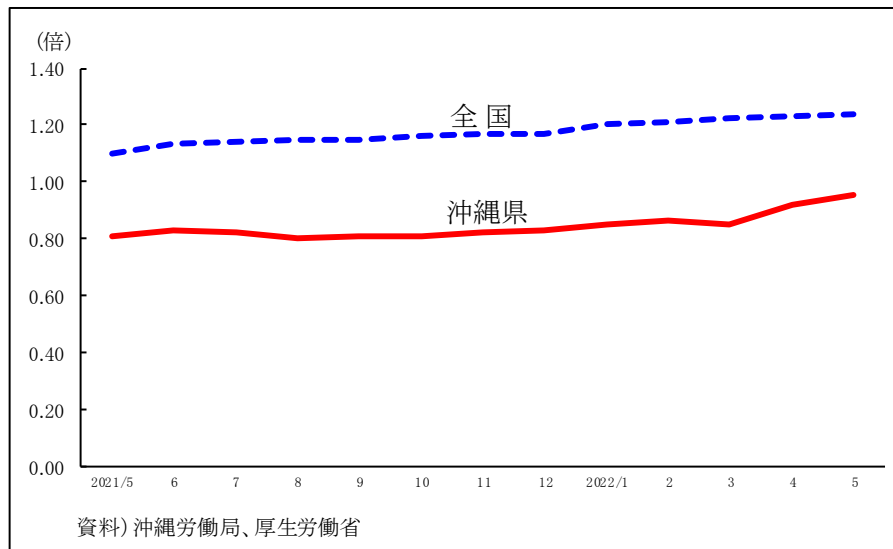


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(5月)・・・沖縄、全国ともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/5	0.81	1.10
6	0.83	1.13
7	0.82	1.14
8	0.80	1.15
9	0.81	1.15
10	0.81	1.16
11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23
5	0.95	1.24



資料)沖縄労働局、厚生労働省

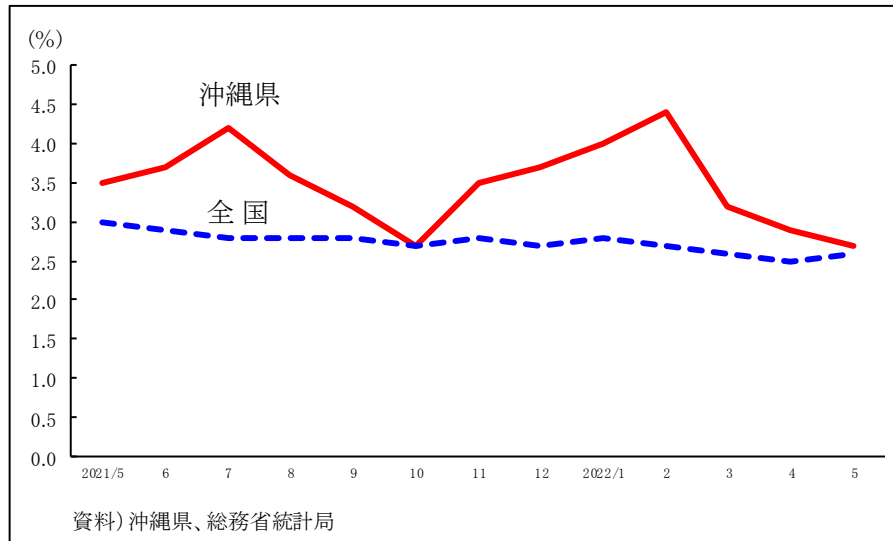
注)季節調整済

注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 2.2%増の 30,549 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 1.2%減の 32,244 人となり、有効求人倍率(季節調整値)は 0.95 倍と、前月より 0.03 ポイント上昇となりました。

②【参考】完全失業率（5月）・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:%		
	沖縄県	全 国
2021/5	3.5	3.0
6	3.7	2.9
7	4.2	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.7	2.7
11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5
5	2.7	2.6



注) 季節調整済

5月の完全失業率(季節調整値) は、2.7%となり前月より0.2ポイント低下しました。